

研究課題名	輸血副反応におけるアレルギー反応の解析
研究期間	実施許可日 ～ 2029年3月31日
研究の対象	2012年1月1日～2027年12月31日の間、広島大学病院で輸血を実施され、輸血製剤による副反応があった患者さん。
研究の目的・方法	<p>研究目的：本院では輸血副作用が疑われた場合、全例報告を行っております。中には輸血が原因と特定できないこともあり、その場合を『輸血副反応』と呼びます。輸血副反応における製剤別のアレルギー反応の発生頻度や、輸血後発生時間に関する明らかなデータや研究発表は、多くはありません。本研究はそれらを患者さんの電子カルテから解析することにより、より有用な副反応への対応を探索するものです。</p> <p>研究の方法：対象期間中に輸血副作用報告のあった患者さんの症状・原因製剤・症状発見時間、場合によっては投与薬剤など調査しまとめます。その中でも、アレルギー反応の患者さんについて解析を行います。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、原疾患、輸血歴・副作用歴、輸血副反応症状が出た際の処置（投薬履歴など）、転帰、副反応発生以降の処置等
外部への試料・情報の提供	本学単独研究で実施する研究のため、外部へ提供することはありません
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2020年5月7日）以降
個人情報の保護	<p>試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。</p> <p>個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者監督のもと、保管・管理します。</p> <p>試料・情報の管理責任者 広島大学病院 輸血部 准教授 藤井 輝久</p>
研究組織	<p>本学の研究責任者 広島大学病院 輸血部・血友病診療センター 藤井 輝久</p>
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果

には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。  
また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3  
T e l : 082-257-5582 (輸血部)  
広島大学病院輸血部 小松 真由美